

防災公園の整備により、津波災害時の一時避難場所を確保する

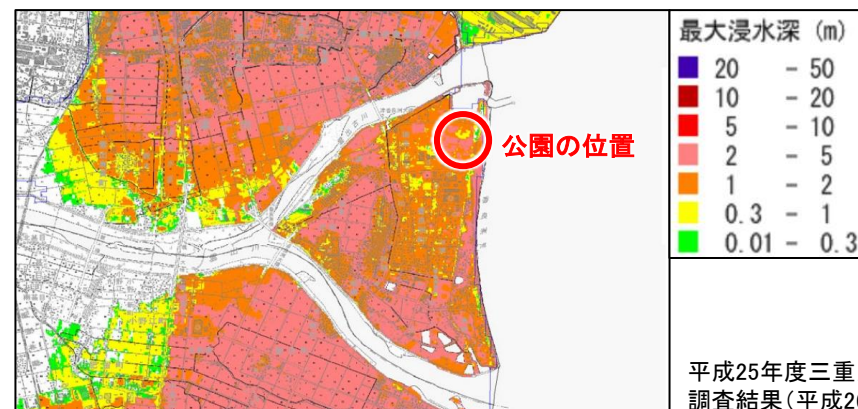
【対策】29 防災公園の機能確保に関する対策

対策概要：地震災害や風水害など多様な災害に対応した防災公園の整備により、災害発生時の避難地、防災拠点としての機能を確保する。

府省庁名：国土交通省

【事例】香良洲高台防災公園の整備

- 実施主体：三重県津市
- 実施場所：三重県津市香良洲町
- 事業概要：香良洲地区は、周囲を伊勢湾と一級河川に囲まれた三角洲地帯であり、南海トラフ地震に伴う津波発生時には地区全域が浸水し、住民の避難が困難となることから、津市地域防災計画に基づき、津波災害時の一時避難場所を確保するための公園整備を実施する。
- 事業費：約17億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約7億円)
- 効果：南海トラフ地震に伴う津波発生時には地区全域が浸水することが予測されており、海拔10mの高台を造成し、津波災害時の一時避難場所を確保することにより、当該地区の住民の避難、人的被害の防止が可能となる。また、平常時は多目的広場や多目的グラウンドとして活用され、地域のにぎわい・憩いの空間として機能する。



津波浸水予測図(理論上最大)

